

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

学位申請者	文 吉英 【比較社会文化学専攻 平成25年度生】	要 旨
論文題目	日韓における母親の養育態度に関する研究-教育価値観、子どもへの期待に着目して-	<p>本研究は、日韓の母親を対象に、教育価値観、子どもへの期待、養育態度を明らかにし、教育価値観と子どもへの期待が養育態度に与える影響を検討することを目的とした。第1章と第2章では、日韓の少子化、学歴主義、グローバル化という社会的現状から親の意識や態度への再考の必要性を述べた。また日韓の養育態度に関する研究を概観し、親の教育価値観と子どもへの期待の要因への検討の重要性を述べ、研究課題を示した。第3章では、質問紙調査により日韓の母親の教育価値観を比較した。その結果、韓国人母親の方が教師の専門性や熱意、人材教育や文化的視野を育む教育をより重視すること、日本人母親は規則遵守する学生を、韓国人母親は教師に従順する学生をより理想としていることが示された。第4章では、日韓の母親の子どもへの期待を質的に検討した結果、グローバル志向、規律のある態度、豊富な遊び経験（韓国は豊かな遊び）、良い成績という類似した期待が得られ、母親の期待は日韓のグローバル化などの社会的状況により形成されることや、期待が養育態度として表れる可能性が示された。第5章では、日韓の母親の養育態度を質的に検討した結果、共通して受容、統制、同調、自由への容認が得られた。日韓とも養育において、子どもの教育が非常に大きい部分を占め、養育態度に母親の教育価値観が反映されていることが窺えた。第4章と第5章の結果から、日韓の母親の教育価値観と子どもへの期待は養育態度に影響を与えるという仮説が生成された。第6章と第7章では、日韓の母親を対象に質問紙調査を行い、教育価値観、子どもへの期待、養育態度を明らかにし、その関連性を示した。その結果、両国において養育態度に教育価値観、子どもへの期待が影響していることが示され、仮説が検証できた。日本人では、子どもの優秀な成績を期待するが、教師に専門性は期待しない受験家庭の母親が同調の養育態度を取ることが窺え、同調の養育態度により受験競争が激化する可能性が窺えた。韓国人では、学業と関わる期待を持つ母親が統制、過保護の養育態度を取る背景には、少子化や、学校教育への不満があった。第8章では、日韓の母親の教育価値観、子どもへの期待、養育態度の背景要因から、母親にとって望ましい教育について考慮すべきことを総合的に考察した。日韓の社会的状況を視野に入れ、比較文化的観点から母親の教育価値観、子どもへの期待、養育態度を検討し、その関連性を示したのは本研究の意義である。今後は養育態度と関連する他の要因への更なる検討が必要である。</p>
審査委員	(主査) 教授 加賀美 常美代	
	教授 佐々木 泰子	
	准教授 西川 朋美	
	教授 森山 新	
	教授 浜野 隆	

